

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 024	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 ヤマビル駆除剤の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】  有害鳥獣の増加などにより、ヤマビルも増加しているため、農作業が敬遠され、遊休農地となることにより、有害鳥獣の増加とヤマビル生息域の拡大という悪循環が起きている。 殺ヒル剤（ディート）はあるが、土地や道路などに広範囲に使用する場合、コストが掛かりすぎるので、安全で環境にやさしく、安価な駆除剤の開発が急務である。	
解決希望年限	③4～5年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	<p>駆除剤の開発は、当所の所管外のため実施不可とします。</p> <p>なお、茶園におけるヤマビルの防除については、試験研究課題「茶園等農耕地におけるヤマビルの分布実態と防除対策」に取り組み、茶に登録のある一部の農薬を散布することで、ヤマビルの密度が低下することを明らかにしています。</p> <p>詳細については、平成21年に神奈川県で取りまとめた「ヤマビル対策共同研究報告書」 <a href="https://www.pref.kanagawa.jp/documents/15105/80621.pdf">https://www.pref.kanagawa.jp/documents/15105/80621.pdf</a> および、その一環として当所で取り組んだ「茶園管理がヤマビルの生息に及ぼす影響」（研究報告） <a href="https://www.pref.kanagawa.jp/documents/27459/530769.pdf">https://www.pref.kanagawa.jp/documents/27459/530769.pdf</a> に記載されていますので、ご活用ください。</p>		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			